



Kitaho. com 2012 4

発行部数 **3,000部**

●平成24年4月号 第441号 ●平成24年4月1日発行 ●毎月1日発行

**がんばろう!みやぎ
がんばろう! 仙台**

昨年11月1日より仙台北法人会のホームページアドレスが

<http://www.kitaho.or.jp>

に変更になりました。

仙台北法人会

検索

特集

品質改善で 利益の創出を!

未来事業株式会社
マネジメントコンサルタント 石黒 和男 氏

4月の事業予定

- 2日 宮町・小田原支部『第1回役員会』(12:00~花さいだん宮町)
- 4日 新入社員ビジネスマナー実践講座』(10:00~新仙台ビルディング)
パソコンセミナー①『今さら聞けない!!住所録編』(18:30~マハロ)
- 5日 女性部会『監査会』(11:00~新仙台ビルディング)
- 6日 第1回社会貢献特別委員会』(10:00~新仙台ビルディング)
- 8日 婚活事業(12:00~(株)アートプライダル)
- 9日 青年部会『社会貢献委員会』(18:30~未定)
- 11日 青年部会『監査会』(11:30~新仙台ビルディング)
青年部会『総会前役員会』(12:00~新仙台ビルディング)
県連『第1回事務局長会議』(11:00~新仙台ビルディング)
- 12日 法人会全国女性フォーラム群馬大会(14:00~グリーンロード前橋)
パソコンセミナー②『現金出納帳・時給計算編』(18:30~マハロ)
- 13日 県会連『視察研修会』(群馬県)
『第1回事業委員会』(10:00~新仙台ビルディング)
『第1回税制委員会』(12:00~新仙台ビルディング)
- 16日 第1回厚生委員会』(10:00~新仙台ビルディング)
- 17日 一日経理セミナー『経理の実務手ほどき講座』(10:00~被災復興記念館)
青年部会『第29回定時総会』(18:00~ホテル白萩)
- 18日 荒巻・八幡支部、通町支部、二日町・国分町支部、支部合同総会 & 情報交換会』(17:30~KKRホテル仙台)
- 19日 仙台北優法会『監査会』(11:00~新仙台ビルディング)
仙台北優法会『役員会』(11:30~新仙台ビルディング)
県青連『部会長会議』(16:00~ホテルレオパレス仙台東口)
宮城野支部『総会』(18:30~とる)
- 20日 短期集中講座(13:00~新仙台ビルディング)
- 23日 第1回組織委員会』(12:00~新仙台ビルディング)
- 24日 女性部会『第32回定期総会・記念講演会』(16:00~仙台勝山館)
- 25日 仙台北優法会『定時総会』(16:00~KKRホテル仙台)
- 26日 新入社員フォローアップ(13:00~新仙台ビルディング)
パソコンセミナー③『差込み印刷』(18:30~マハロ)
北東支部『総会』(18:00~旭ヶ丘)
- 27日 県連『第1回税制委員会』(14:00~未定)

5月の事業予定

- 8日 総務・事業合同委員会(12:00~新仙台ビルディング)
- 9日 女性部会『委員会・役員会』(11:00~新仙台ビルディング)
女性部会『租税教室・指導者研修会』(14:00~新仙台ビルディング)
- 11日 監査会(10:00~法人会会議室)
- 15日 県連監査会・第1回総務委員会(11:00~法人会会議室)
- 16日 常任理事会(11:00~ホテル白萩)
理事会(12:00~ホテル白萩)
- 17日 仙台北税団協定例会(10:30~KKRホテル仙台)
- 28日 『平成24年度通常総会』(夕方~江陽グランドホテル)

仙台北法人会
全16支部を
リレーで掲載

泉第一支部

長谷川 淳 さん

(株)泉工務店

今月の
喜宝人
喜多

タックスQ&A

～定率法の償却率等の見直し～

Q

減価償却資産の償却方法の改正があるようですが、どのように変わるのでしょうか。

A

平成23年度の税制改正において、定率法の償却率等の見直し及び資本的支出の取得価額の特例の整備が行われました。紙面の都合上、今回は定率法の償却率等の見直しの主な点について掲載いたします。詳細をお知りになりたい場合は、国税庁のホームページ(<http://www.nta.go.jp>)の「平成23年度 法人税関係法令の改正の概要」の2ページから6ページ及び「平成23年12月改正 法人の減価償却制度の改正に関するQ&A」をご覧ください。

1 定率法の償却率の改正

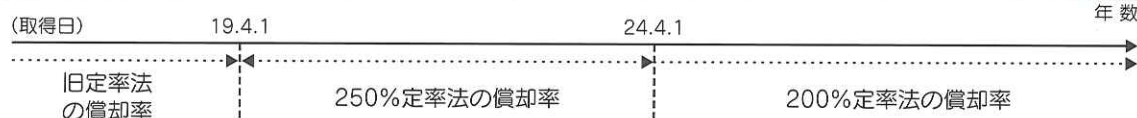
平成24年4月1日以後に取得をされた減価償却資産に適用される定率法の償却率が、定額法の償却率を2.5倍した償却率（以下、この償却率による償却方法を「250%定率法」といいます。）から定額法の償却率を2倍した償却率（以下、この償却率による償却方法を「200%定率法」といいます。）に引き下げられました。

また、平成24年4月1日以後に取得をされた減価償却資産に適用される「改定償却率」及び「保証率」についても、200%定率法の「償却率」の改正に合わせて見直されました。（改正後の「償却率」、「改定償却率」及び「保証率」の表を上記「平成23年12月改正 法人の減価償却制度の改正に関するQ&A」の巻末に掲載しています。）

《イメージ図》

定率法：期首帳簿価格 × 定率法の償却率
(未償却残額)

【改正前】	定額法の償却率 × 250%
【改正後】	↓
19.4.1～24.3.31 取得	定額法の償却率 × 250%
24.4.1 以後取得	定額法の償却率 × 200%

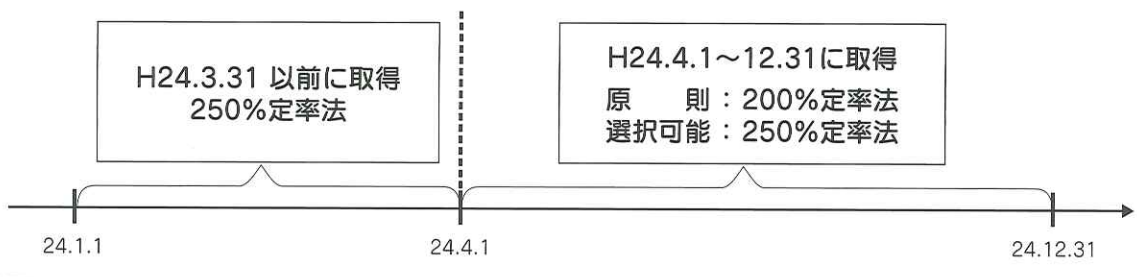


2 平成24年4月1日以後に取得をされた減価償却資産の250%定率法の適用

平成24年4月1日前に開始し、かつ、同日以後に終了する事業年度においてその有する減価償却資産の償却方法として定率法を選択している法人が、同日からその事業年度終了の日までの期間内に減価償却資産を取得する場合には、その減価償却資産を平成24年3月31日以前に取得をされたものとみなして、250%定率法により償却することができます。

《イメージ図》

(12月決算法人の例)



一日も早い 日常の生活を

下水道管更生工事

地下鉄八乙女駅前を過ぎてから北側に入った道沿いに今回、取材をする株式会社泉工務店の本社社屋がある。二階事務所の奥の部屋で清楚で穏やかな雰囲気の中、代表取締役の長谷川淳さんが私達を迎えてくれました。

当社は、長谷川建設株式会社の系列会社で昭和51年に創立しています。一般土木・舗装工事、下水道管調査及び下水道管更生工事が主たる事業となります。特に下水道管の更生工事は耳慣れない言葉と思いますが、老朽化が進んだ古い既設の下水道管の中に特殊な素材(主に樹脂材)を送り込み、管の内側に新たな下水道管を作る技術です。この工法は、交通を規制し、道路を掘削しながら下水道管を交換するよりも、道路利用者に不便を掛けず、なお且つ工期短縮と施工コスト削減のメリットがあり、当社は、仙台市内での下水道工事にて、逸早くこの技術の導入を図り、多くの工事実績を築くことができました。

アメリカでのホームステイ

私自身は、生まれも育ちも仙台で、幼少期から、わりと体を動かすことが好きな方でしたので、中学時代は陸上競技、

高校時代は弓道部で県内での高校総体に出場する貴重な体験をさせてもらいました。弓道部に入部した動機は、今後、弓矢を放つ経験は出来ないのではと考えてのことです。

また、英語が好きでしたので、両親の勧めもあり学生時代に2度の留学経験をさせてもらいました。その中で、特に大学時代の時にアメリカ東海岸に約6週間、現地の大学での勉強やホームステイ等が出来た事が貴重な体験となりました。特に大きな収穫となった事は日本とアメリカの文化の違いやアメリカ人と日本人との国民性の違い等を身を持って経験できた事です。また、留学中、印象的な思い出として、アメリカ人家族が、常に私自身にフレンドリーな対応で家族同様に接してくれた事や同時に家族としての役割もキッチリ与えられた事です。日本では、相手の気持ちを察する等、兎角、遠慮が美德とされがちですが、逆にアメリカでは自己主張をきちんとしないと、相手に自分の意思が十分伝わらない事も学びました。また、アメリカは自由の多い国である反面、自己責任が厳しく問われる国である事も同時に痛感いたしました。

大学進学で

父が経営している仕事に就くことを真剣に考えたのは大学に進学する時でした。結果として工学部に入学したのですが、その時に、父の仕事を継ぐことを決心しました。卒業の際に、私の希望で、

約4年間、高速道路を管理する会社に就職し、管制室で道路状況を監視する仕事を経験しました。その時は、高速道路を多くの自動車が安全に走行できるように24時間体制で管理する業務でしたので、常に神経と体力を使った事などを今でも記憶しています。

その後、父の会社で営業を担当し33歳の時に、株式会社泉工務店の3代目の代表取締役役に就任しました。代表取締役役に就任した当初は年齢も若く、この重責が自分に務まるか否か、とても不安な毎日でした。また、当時は同年代の相談する相手も少なかったため父に良く経営上のアドバイスを受けた事を思い出します。

インフラに関わる仕事の重要性

現在、当社は生活に欠かせない道路や下水道といったインフラに関わった仕事をさせて頂いております。震災以降、被災地では多くの道路や下水道等が破損し、不便な生活をお送りの方々が多数おられます。したがって、当社に与えられた仕事をしっかりと遂行する事で多くの被災者が、一日も早く、日常の生活に戻れるよう社員共々、使命感に燃え、日々、頑張っております。また、仙台の地元建設業協会の会員として復興支援活動にも積極的に参加させて頂いております。特に、社員には、当社が施工した公共施設をご利用頂くお客様に常に満足頂けます様に十分な良質な施工に、努めるよう指導するとともに各現場の監督員が工事の安全管理もしっかりと



行えるように私自身も定期的に現場を巡視する等、適切な指示、指導を行っております。

今年、50歳を迎えますので、今まで経験してきた事を活かし、経営者として、地域の方々より更なる信頼を得られるよう、今後も社員と共に社業に取り組んでいきたいと考えています。

最近では、余り休暇が取れませんが、時間がある時は、気分転換にゴルフをしたり、年に一度は、家族サービスで温泉旅行やスキー等のレジャーを楽しんでおります。

取材を終えて、社長室の壁を見た時に多くの宮城県や仙台市からの表彰状が飾られており、「これも仕事の励みになります」との話をされておりましたが、長谷川淳さんの誠実さと同時に責任感の強さ、冷静な物の見方が多くの表彰状から聞えてくるようであり経営者としての秘訣であると感じることができました。

